










Scarlett Solo Studio 4th Gen
User Guide

The complete songwriter's studio
Focusrite®

目次

概要	4
はじめに	4
内容物	4
システム要件	4
ソフトウェアシステム要件	4
使用を開始する	5
Scarlett の電源を投入	5
イージースタート	5
Windows	5
Mac	6
すべてのユーザー	6
Focusrite Control 2 について	7
Focusrite Control 2 のインストール	7
手動による製品登録	8
イージースタートを無効にする	8
各部の名称と特徴	9
フロントパネルの各機能	11
プリアンプの入力ゲインを設定する	11
48V ボタン (ファンタム電源)	12
Inst (インストゥルメント) ボタンおよびライン入力	13
Air モード	13
Output ノブ	14
ダイレクトモニターボタン	14
ヘッドフォン出力	15
リアパネルの詳細	16
USB 接続	16
スピーカー出力	16
マイク入力	16
Studio Pack 付属アクセサリー	17
CM25 MkIII マイクロフォン	17
SH-450 ヘッドフォン	18
DAW (録音ソフトウェア) のセットアップ	19
 Ableton Live	20
 Logic および  GarageBand	24
 Reaper	25
 Cubase	27
 Pro Tools	29
 FL Studio	30
Focusrite Control 2	31
Focusrite Control 2 の設定	31
サンプルレート (kHz)	31

クロックソース	31
分析	31
使用例	32
入出力の接続	32
ラインレベル機器を接続する	33
ループバック	33
スタンドアロンモード	33
アップデート	34
Focusrite Control 2 のアップデート	34
Scarlett のアップデート	35
仕様	36
性能仕様	36
物理的特性と電気的特性	37
Solo チャンネルの順序	37
CM25 Mk III マイクフォン仕様	38
SH-450 ヘッドフォン仕様	39
通知	40
トラブルシューティング	40
著作権および法定通知	40
クレジット	41

概要

はじめに

Scarlett Solo 第 4 世代へようこそ。

Scarlett Solo は、絶えず創作に挑むアーティストのために作られた製品です。最新世代の Scarlett で、どこでもお好きな場所でスタジオ品質のサウンドでのレコーディングをお楽しみください。

- +57dB のゲインを各入力に備え、あらゆるマイクやギターの性能を最大限に引き出します。
- 再設計された Air モード (Presence および Harmonic Drive)。
- イージースタートのほか、音楽制作に必要なスタジオソフトウェアがすべて付属し、すぐにレコーディングが開始できます。
- Scarlett 史上最高のパフォーマンスを誇る、レベルコントロール付きヘッドフォンが付属。

内容物

Scarlett Solo には以下の同梱物が含まれます。

- Scarlett Solo
- USB-C to A cable
- Getting Started (梱装箱蓋内部に記載)
- 安全に関する情報ガイド
- Scarlett CM25 MkIII マイクロフォンおよび XLR ケーブル (3m)
- Scarlett SH-450 ヘッドフォン
- 段ボール製マイクスタンド (Scarlett Studio 梱包材に組込)

システム要件

お使いのコンピュータのオペレーティングシステム (OS) が Scarlett Solo に対応しているかを確認するには、ヘルプセンターの互換リストをご参照ください。

[Focusrite ヘルプセンター：互換性](#)

互換性リストは、OS の新バージョンのリリースに応じて随時更新され、ヘルプセンターにてご確認いただけます。

support.focusrite.com

ソフトウェアシステム要件

Focusrite Control 2 がお使いのコンピュータのオペレーティングシステム (OS) に対応しているかを確認するには、ヘルプセンターの互換リストをご参照ください。

[Focusrite ヘルプセンター：互換性](#)

互換性リストは、Focusrite Control 2 または OS の新バージョンのリリースに応じて随時更新され、ヘルプセンターにてご確認いただけます。

support.focusrite.com

使用を開始する


Scarlett の電源を投入

Scarlett Solo の電源を投入するには、コンピュータに接続した USB ケーブルをリアパネルの **USB** ポートに接続します。

数秒すると Scarlett が起動し、 USB アイコンが緑に点灯します。



重要

本体が起動したにも関わらずコンピュータに認識されない場合は、 USB アイコンが白く点灯します。その場合は以下をご確認ください。

- Focusrite Control 2 がコンピュータにインストールされているか。
- コンピュータの別の USB ポートを使用する。
- 別の USB ケーブルを使用する。

コンピュータに接続せずに Scarlett Solo の電源を投入する方法は、[スタンドアローンモード \[33\]](#)をご参照ください。

イーजीスタート

イーजीスタートは、Scarlett を手順に沿ってセットアップし、Scarlett の使用用途に応じてパーソナライズされたチュートリアルリストを作成できるオンラインツールです。また、Scarlett の製品登録やバンドルソフトウェアのダウンロードなども行えます。

Windows または Mac に Scarlett を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置 (MSD) としてマウントされます。ドライブを開き、「Scarlett - Getting Started.html」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、イーजीスタートがウェブブラウザで開かれます。

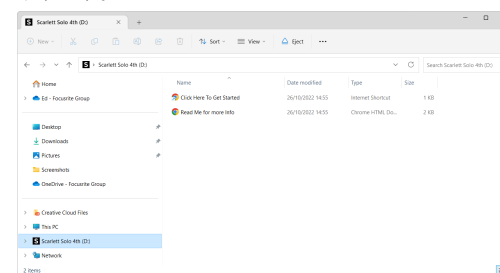
画面の指示に従い必要なソフトウェアをインストールし、Scarlett を使用する準備を行います。

Windows

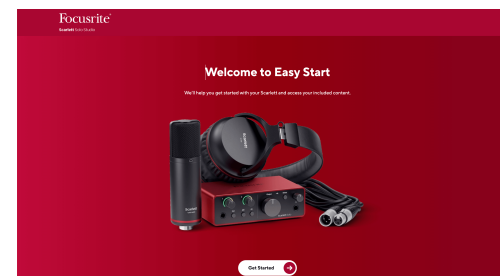
Scarlett Solo をコンピュータに接続すると、エクスプローラーに「Scarlett Solo 4th Gen」というドライブが表示されます。イーजीスタートはこのドライブから起動できます。

イーजीスタートを起動するには：

1. エクスプローラーを開きます。
2. Scarlett Solo 4th Gen (D:)を開きます。ドライブレターは、お使いの環境によって異なる場合があります。



3. Click Here to Get Started をダブルクリックします。Focusrite ウェブサイトが開くので、製品登録を行うことをお勧めします。



4. Get Started をクリックすると、Scarlett の使い方に応じたセットアップ手順が表示されます。

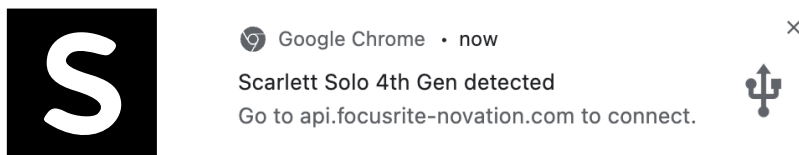
セットアップの際に、Focusrite Control 2 がインストールされます。インストールされた Focusrite Control 2 を起動し、「Update Scarlett Solo」をクリックします。Focusrite Control 2 のアップデート中は、Scarlett をコンピュータから切断しないでください。Focusrite Control 2 のアップデートが完了すると、Scarlett はストレージデバイスとしてコンピュータに認識されなくなります。

オペレーティングシステムにて、Scarlett をコンピュータの規定のオーディオ入出力デバイスとして設定する必要があります。

確認方法：Windows タスクバーのスピーカーアイコンを右クリックし、再生デバイスで Scarlett が選択されているかを確認します。

Mac

Scarlett Solo をコンピュータに接続すると、デスクトップに Scarlett アイコンが表示されます。Chrome をお使いの場合は、以下のポップアップが表示されます。

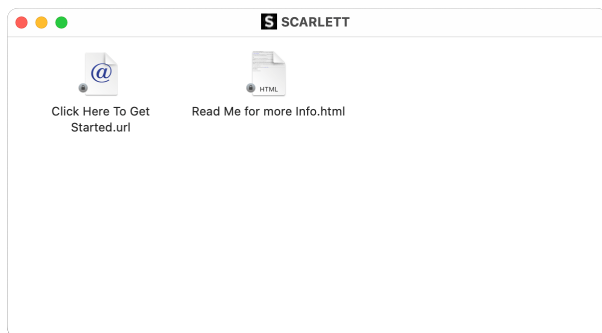


Scarlett イージースタートアイコン: ダブルクリックしてイージースタートを開始 (手順 1)

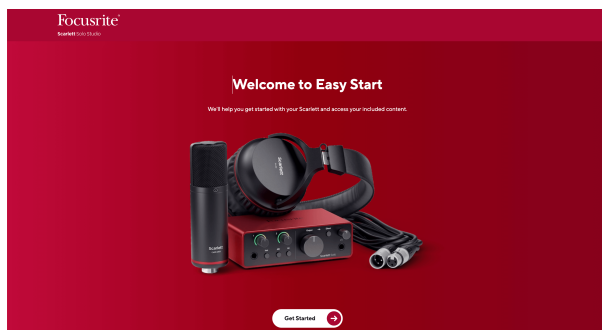
Chrome のポップアップ: クリックしてイージースタートを開始 (手順 2)

イージースタートを起動するには :

1. アイコンをダブルクリックすると、以下の Finder ウィンドウが開きます。



2. Click Here to Get Started をダブルクリックします。Focusrite ウェブサイトが開くので、製品登録を行うことをお勧めします。



3. Get Started をクリックすると、Scarlett の使い方に応じたセットアップ手順が表示されます。

セットアップの際に、Focusrite Control 2 がインストールされます。インストールされた Focusrite Control 2 を起動し、「Update Scarlett Solo」をクリックします。Focusrite Control 2 のアップデート中は、Scarlett をコンピュータから切断しないでください。Focusrite Control 2 のアップデートが完了すると、Scarlett はストレージデバイスとしてコンピュータに認識されなくなります。

オペレーティングシステムにて、Scarlett をコンピュータの規定のオーディオ入出力デバイスとして設定する必要があります。

確認方法 : システム環境設定 > サウンドを開き、再生デバイスで Scarlett Solo が選択されていることを確認します。

すべてのユーザー

ドライブ内にある 2 つ目のファイル「More Info and FAQs」を開くと、セットアップで問題が生じた際に役立つ様々な情報にアクセスできます。

製品登録を行うと、以下のリソースにアクセス可能になります。

- Focusrite Control 2 (Mac/Windows 版) - 下記の解説をご参照ください。
- 各国語版ユーザーガイド - downloads.focusrite.com からダウンロード可能
- 付属のバンドルソフトウェアおよびライセンスコードへのリンク (Focusrite アカウント内) Scarlett Solo 付属のバンドルソフトウェアに関する詳細は、Focusrite ウェブサイト (focusrite.com/scarlett) をご参照ください。

Focusrite Control 2 について

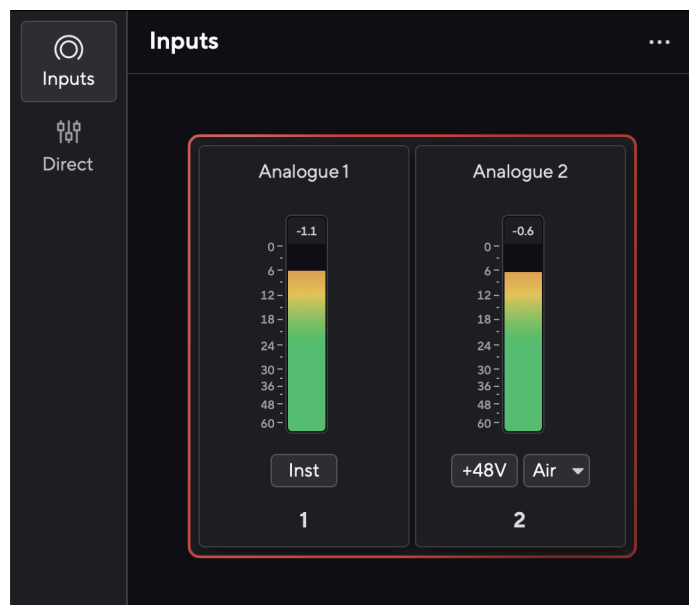
Focusrite Control 2 は、Scarlett インターフェースをコントロールするためのソフトウェアです。



Focusrite Control 2 アイコン

Focusrite は、お客様が Scarlett を最大限に活用いただけるよう、新機能の追加や改善を施す Scarlett Solo のアップデートを臨時提供しています。Scarlett Solo のファームウェアは、Focusrite Control 2 からアップデート可能です。

Focusrite Control 2 を使うと、お使いのモデルに応じて Scarlett の様々な機能をコンピュータからコントロールできます。



注記

Focusrite Control 2 は主要な読み上げソフトウェアに対応しており、Scarlett の各機能のコントロールが可能です。

Focusrite Control 2 のインストール

あなたはウィンドウズと Mac にインストール Focusrite Control 2 することができます。ダウンロードしてインストール Focusrite Control 2 するには:

1. フォーカスライトのダウンロードウェブサイトに移動します。
focusrite.com/downloads
2. ダウンロード Web サイトであなた Scarlett を見つけてください。
3. お使いのオペレーティングシステム(Windows または Mac)用にダウンロード Focusrite Control 2 してください。
4. コンピューターのダウンロードフォルダーを開き、Focusrite Control 2 インストーラーをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従ってインストール Focusrite Control 2 します。Windows 用にインストール Focusrite Control 2 する場合は、コンピュータが再起動します。
6. まだ接続していない場合は、インターフェイスを USB ケーブルでコンピュータに接続します Scarlett。
7. Focusrite Control 2 を起動すると、Scarlett が自動的に認識されます。



注記

Windows で Focusrite Control 2 をインストールすると、ドライバーも同時にインストールされます。Focusrite Control 2 は、製品登録を行っていない場合でも、downloads.focusrite.com からダウンロード可能です。macOS で本製品を使用する場合はドライバーは不要で、Focusrite Control 2 のインストールのみ必要となります。

手動による製品登録

Scarlett の製品登録を後日行う場合は、customer.focusrite.com/register から登録可能です。

その場合はシリアル番号を手動で入力する必要があります。シリアル番号はインターフェースの底面（下側の白い数字）、または梱包箱のバーコードラベルに記載されています。



使用を開始する際は、Focusrite Control 2 のダウンロードをお勧めします。Focusrite Control 2 を起動すると、イージースタートモードが無効になり、Scarlett Solo のすべての機能が有効になります。

イージースタートモードでは、サンプルレートが最大 48kHz に制限されています。Focusrite Control 2 をインストールすることで、最大 192kHz の性能を最大限に活用できます。

Focusrite Control 2 は、downloads.focusrite.com からいつでもダウンロード可能です。

イージースタートを無効にする

イージースタートによるセットアップ完了後、Focusrite Control 2 をインストールして起動すると、Scarlett のイージースタートモードは自動的に無効になります。

Scarlett Solo のイージースタートモードが無効にならない、または Focusrite Control 2 をインストールせずにイージースタートモードを無効したい場合は、以下の手順に従ってください。

1. Scarlett Solo の電源をオフにします。
2. **48V** ボタンを押し続けます。
3. **48V** ボタンを押したまま Scarlett Solo の電源をオンにします。
4. フロントパネルが点灯したことを確認し、**48V** ボタンを離します。
5. Scarlett Solo を再起動します（電源をオフにしたあと再びオンする）。

以上でイージースタートモードは無効になります。

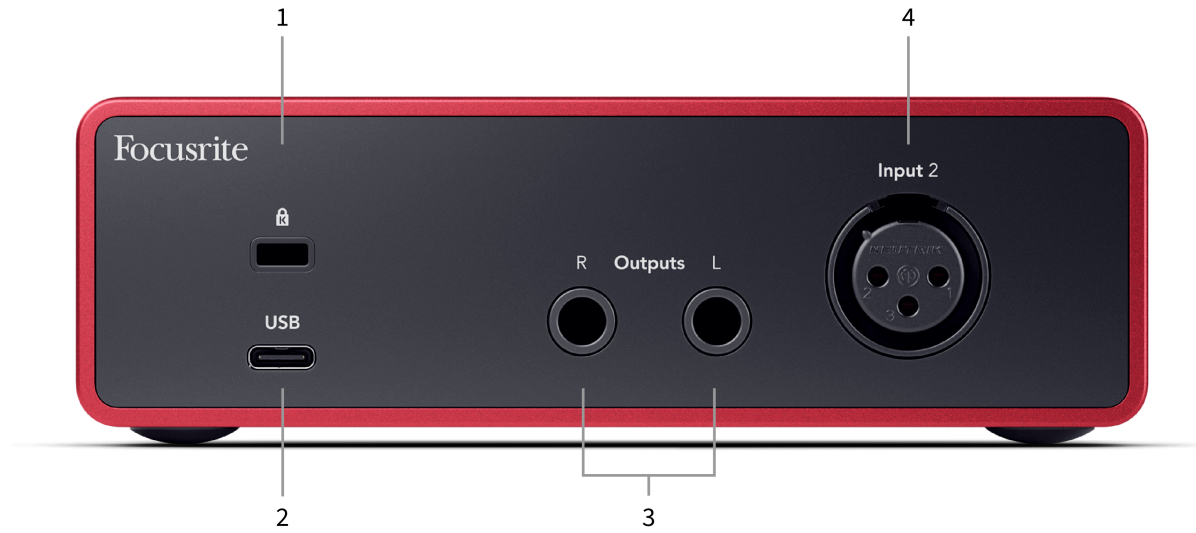
各部の名称と特徴

フロントパネル



1. 入力 1 (ラインレベル/インストゥルメント) ゲインコントロールおよびゲイン Halo - ゲインコントロールは、フロントパネルの 6.35mm (1/4 インチ) ラインレベル/インストゥルメントジャック入力 1 の入力レベルを設定します。ゲイン Halo は、入力レベルを表示します。
2. 入力 1 ラインレベル/インストゥルメント 6.35mm (1/4 インチ) ジャックソケット - モノラル (TS) ジャックおよびステレオバランス (TRS) ジャックのいずれにも対応し、ラインレベルまたはインストゥルメントレベル信号を入力できます。
3. Inst スイッチ - 6.35mm (1/4 インチ) 入力ジャック 1 の信号レベルを、ラインまたはインストゥルメントレベルに切り替えます。
4. 入力 2 (マイクロフォン) ゲインコントロールおよびゲイン Halo - ゲインコントロールは、リアパネルの XLR マイク入力 2 の入力レベルを設定します。ゲイン Halo は、入力レベルを表示します。
5. 48V ボタン - コンデンサーマイクに電源を供給するための XLR マイク入力の 48V ファンタム電源を有効にします。
6. Air ボタン - AIR モードを有効にします (Air のページ参照)。
7. Output スピーカー出力レベルコントロール - 出力 R および L の出力レベルを調整します。
8. USB LED - インターフェースがコンピュータに認識されると、緑色に点灯します。接続されているにもかかわらず認識されない場合は、白色に点灯します。
9. Direct モニタースイッチ - ダイレクトモニタリング機能のオン/オフを切り替えます (ダイレクトモニターボタンのページ参照)。
10. ヘッドフォンレベルコントロール - ヘッドフォン出力レベルを調整します。
11. ヘッドフォン出力ソケット - TRS 6.35mm (1/4 インチ) ジャックコネクタでヘッドフォンを接続します。

リアパネル



1. **🔒**-ケンジントンロック。Scarlett を固定し、盗難から守ります。
2. **USB** - Scarlett とコンピュータを接続するための USB-C コネクタ。
3. スピーカー出力 **Outputs R** および **L** - Scarlett をスピーカーまたはアンプに接続するための 6.35mm (1/4 インチ) ジャック (TS または TRS) ソケット。出力先の機器がバランス接続に対応している場合は、6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャックケーブルの使用をお勧めします。
4. **XLR 入力 2** - マイク接続用 3 ピン XLR コネクタ。

フロントパネルの各機能

本章では、Scarlett Solo のフロントパネルのすべての機能を紹介し、Focusrite Control 2 での操作方法についても解説します。

プリアンプの入力ゲインを設定する

プリアンプの入力ゲインを使うと、コンピュータおよび録音ソフトウェアへ送信する信号レベルを調整できます。

最高の音質での録音を行うには、プリアンプの入力ゲインを適切に設定することが重要になります。プリアンプの入力ゲインが低すぎると入力信号が小さくなります。この状態で録音した信号のレベルを上げると、ノイズが大きく聞こえる場合があります。反対にプリアンプの入力ゲインが高すぎると、入力信号がクリップし耳障りな歪みが録音されてしまう可能性があります。

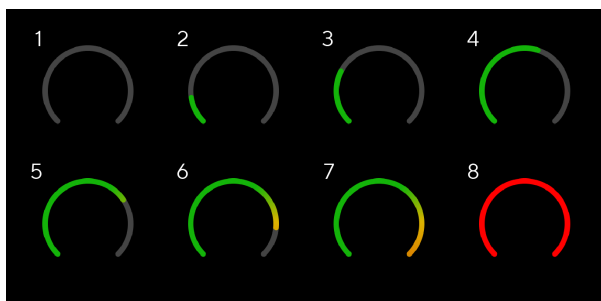
Scarlett Solo は、プリアンプ 1 (Line/Inst) およびプリアンプ 2 (マイクフォン) 用の 2 つのアナログゲインノブを備えます。

入力ゲインを上げるには、プリアンプのゲインノブを時計方向に回します。反対方向に回すと入力ゲインが下がります。

プリアンプに信号が入力されると、ゲイン Halo が緑、橙、赤に点灯し、コンピューターに送信される信号レベルを表示します。

- ・ 緑色の点灯は、適切な信号レベルを示します。
- ・ 橙色の点灯は、信号がクリップ間近であり、これ以上レベルが上がると入力がクリップする恐れがあることを示します。
- ・ 赤色の点灯は、信号がクリップしており、ゲインを下げるべきであることを示します。

下図は、各入力信号レベルにおけるメーター表示を示しています。



1. 入力信号なし
2. -42 dBFS
3. -36 dBFS
4. -24 dBFS
5. -18 dBFS
6. -12 dBFS
7. -6 dBFS
8. 0 dBFS、クリッピング - 信号の歪みやクリップを避けるため、入力ゲインを下げる必要があります。

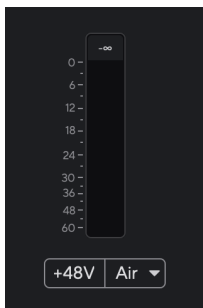
ソフトウェアメーター

入力信号レベルは、Scarlett Solo のフロントパネルと同様に Focusrite Control 2 でも確認でき、プリアンプゲインを適切に設定できます。

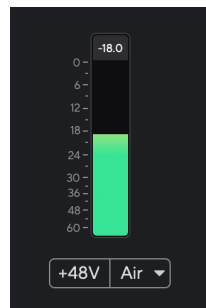
信号レベルが大きくなると、Focusrite Control 2 のメーターの色が緑色から橙色 (クリップ寸前) に変化します。



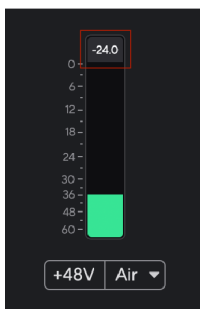
メーター上部のインジケーターは、ピークレベル (dBFS) を表示します。ピークレベルとは、入力信号のモニタリングを開始してから最大レベルを指します。ピークレベルメーターをマウスでクリックすると、ピーク値をリセットすることができます。



入力信号を待機中

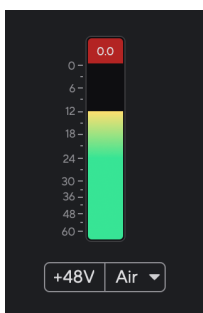


入力信号が-18.5dB に達した様子

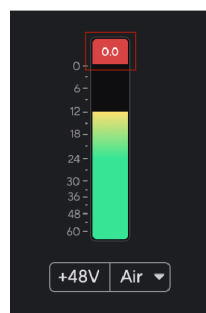


クリックしてピークレベルメーターをリセット

入力信号やゲイン設定が大きすぎてプリアンプがオーバーロードすると、ピークレベルメーターが赤色に点灯します。ピークレベルメーターをマウスでクリックすると、ピーク値をリセットすることができます。



入力信号のクリップを検出



クリップ検出後にピークレベルメーターをクリックしてリセット

48V ボタン (ファンタム電源)

48V (別名ファンタム電源) は、電源を必要とする接続機器に 48V の電圧をインターフェースの XLR コネクタから供給します。主な用途はコンデンサーマイクですが、**48V** を必要とするインラインマイクプリアンプやアクティブダイナミックマイク、アクティブ DI ボックスなどにも使用できます。

48V を有効にするには：

1. 電源を供給したいマイクやその他の機器を、XLR ケーブルでインターフェースの XLR 入力に接続します。**48V** は 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力には供給されません。
2. 不要なポップノイズやクリックノイズを避けるため、プリアンプの入力ゲインを下げます。
3. **48V** ボタン (またはソフトウェアの「+48V」ボタン) を押します。

48V が緑色に点灯し、48V ファンタム電源が有効になったことを示します。Scarlett の XLR 入力に接続された機器に 48V ファンタム電源が供給されます。

48V (ファンタム電源) をソフトウェアで有効にする

48V (ファンタム電源) を Focusrite Control 2 で有効にするには、+48V ボタンをクリックします。Scarlett Solo ハードウェアの 48V ボタンでもファンタム電源を有効にできます。



+48V ファンタム電源オフ



+48V ファンタム電源オン



重要

大半のダイナミックマイクやリボンマイクでは、**48V** ファンタム電源を誤って供給しても問題が生じることはありません。ただし一部の旧型マイクの場合、ファンタム電源を供給することで悪影響を及ぼす可能性があります。お使いのマイクにファンタム電源が必要かどうか不明な場合は、マイクの取扱説明書を確認し、**48V** ファンタム電源で安全に使用できることをご確認ください。

Inst (インストゥルメント) ボタンおよびライン入力

Inst (インストゥルメント) ボタンは、選択チャンネルの 6.35mm (1/4 インチ) ライン入力にのみ有効となります。この機能を有効にすると、ラインレベル機器に適した入力から、インストゥルメント機器に適した入力に切り替わります。

Inst ボタンを押すと、6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力のインストゥルメントモードの有効/無効が交互に切り替わります。Inst を有効にすると Inst 表示が緑色に、無効にすると白色に点灯します。Inst を有効にして入力ジャックにケーブルを接続すると、入力ゲインの最小値が +7dB に変更されます。



注記

Inst 表示が白く点灯している場合は、6.35mm ジャック入力はラインレベルに最適化されていることを示します。

Inst を有効 (緑色に点灯) にすると、1/4 インチ入力にはインストゥルメントレベル機器を接続できます。以下は接続可能な機器の一例です。

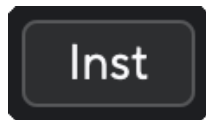
- ・エレクトリックギターおよびエレクトリックアコースティックギター (直接またはエフェクトペダル経由で接続)
- ・エレクトリックベース
- ・ピックアップを備えるアコースティック楽器 (バイオリンやコントラバスなど)

Inst を無効 (白色に点灯) にすると、6.35mm (1/4 インチ) 入口にラインレベル機器を接続できます。以下は接続可能な機器の一例です。

- ・シンセサイザー
- ・キーボード
- ・ドラムマシン
- ・外部マイクプリアンプ

インストゥルメント/ライン入力をソフトウェアで切り替える

インストゥルメント入力およびライン入力を Focusrite Control 2 から切り替えるには、対応するアイコンをクリックして表示されるドロップダウンメニューから目的の項目を選択します。



ライン



Instrument



注記

Inst と Line を切り替える際、ゲイン値は最後に設定されていた値に変更されます。

Air モード

Air モードを有効にすると、Scarlett のプリアンプを異なるキャラクターを持つ 2 つのモードで使用できます (Air Presence、Air Presence & Harmonic Drive)。Air モードは、マイク、ライン、インストゥルメント入力に適用されます。

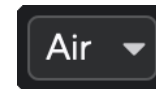
Air はマイク入力にのみ使用できます。

Air モードを有効にするには目的の入力を選択し、Air ボタンを押します。ボタンを 1 回押すと Air Presence モード、2 回押すと Air Presence & Harmonic Drive モードとなり、再度ボタンを押すと Air モードが無効になります。選択中もモードに応じて Air LED の色が変わります。

モード	説明	AIR LED	メモ
Off	クリーンなプリアンプ	白	
Air Presence	アナログ回路によりソース信号のプレゼンスが強調されます。	緑	
Air Presence & Harmonic Drive	アナログ Air 回路に加え、ソース信号に倍音成分が付与されます。	オレンジ	96kHz までのサンプルレートでのみ使用可能です。

Air モードをソフトウェアから使用する

Air モードを Focusrite Control 2 で有効にするには、Air ボタンをクリックします。Scarlett Solo 本体の Air ボタンで Air モードを有効にするのと同様となります。



Air モードオフ

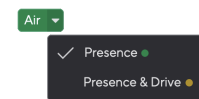


Air Presence が選択中

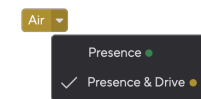


Air Presence and Drive が選択中

Focusrite Control 2 の Air ボタンをクリックすると、前回選択されていた Air モードが有効になります。Air モードを変更するには、矢印アイコンをクリックして表示されるポップアップメニューから目的のモード (Presence または Presence & Drive) を選択します。



Air Presence が選択中



Air Presence and Drive が選択中

**注記**

Air Presence & Drive モードは、96kHz までのサンプルレートでのみ使用できます。クワッドバンド (サンプルレート 176.4kHz および 192kHz) では使用できません。

Output ノブ

Output ノブは、Scarlett のリアパネルにある Outputs 1 および 2 からの信号レベルを調整します。この出力部は多くの場合、モニタースピーカーに接続されます。

Output ノブは、出力レベルをゼロ (左回一杯) からフルスケール (右回一杯) の範囲で変更できます。

**スピーカー出力のキャリブレーション**

Output ノブが左一杯の位置にあるにも関わらずスピーカーから音が聴こえる場合は、モニターレベルを調整することでこれを解決できます：

1. インターフェースの **Output ノブ**およびスピーカーのレベルを下げます。
2. 次に **Output ノブ**を最大値 (または最大値より若干低い値) に設定します。
3. システムでサウンドを再生します。
4. スピーカーのレベルコントロールを、必要となる最大レベルまで上げます。

この状態で **Output ノブ**を最小値にすると、音が聴こえなくなります。上記の設定を行うことで、**Output ノブ**の全範囲を使用してレベル調整が行えるようになるため、より繊細なレベル調整が可能になります。さらに、最大値を少し下回るノブの位置でスピーカーレベルを調整することで、必要に応じてボリュームを更に上げたり、通常よりも大きなレベルでモニターすることが可能になります。

ダイレクトモニターボタン

ダイレクトモニターDirect機能を使用すると、インターフェースへの入力信号をコンピュータを経由せずに直接聴くことができるため、不要なレイテンシーやエフェクトが適用される前の入力信号をモニターできます。

発音タイミングからソフトウェア経由でインターフェースから音が出力されるまでにレイテンシーや遅延が生じる場合や、ソフトウェアやプラグインでサウンドが変化する前のScarlett への入力信号を直接モニターしたい場合などに、ダイレクトモニタリングは役立ちます。

ダイレクトモニタリングがオフのとき、**Direct** アイコンは白く点灯します。**Direct** ボタンを一度押すとダイレクトモニタリングがオンになり、**Direct** アイコンが緑色に点灯します。

Direct

ダイレクトモニターオフ

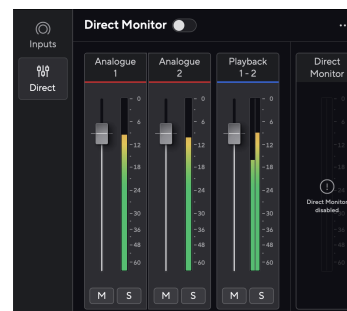
Direct

ダイレクトモニターオン

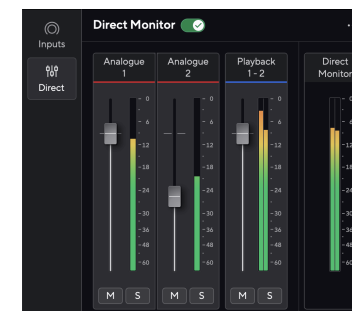
モニターの直接調整

から Focusrite Control 2ダイレクト モニターミックスを有効にして調整して、入力とソフトウェアの再生チャンネルのバランスをとることができます。

Direct Monitor を有効にするには、Focusrite Control 2 の Direct タブをクリックし、タブの上部にある Direct Monitor ソフトウェアスイッチをクリックします。スイッチは緑色に点灯し、ダイレクトは緑色に点灯します。Scarlett Solo のフロントパネル。



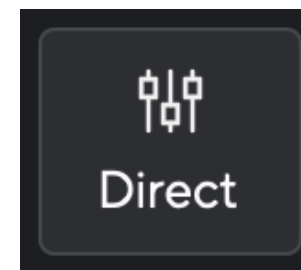
ダイレクトモニターオフ



Direct Monitor がオン、Analogue 2 のレベルが低下

ダイレクト・モニター・ミックスを調整するには:

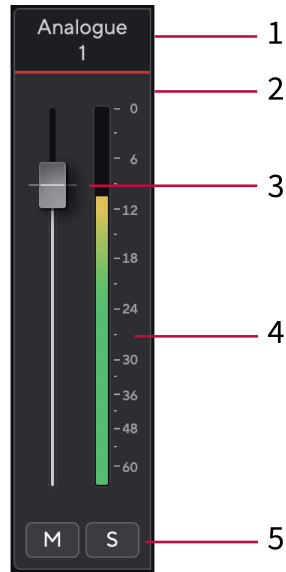
1. 開ける Focusrite Control 2。
2. 「ダイレクト」タブをクリックします。



3. ミキサーチャンネル (フェーダー、ミュート、ソロ ボタン) を使用して、アナログ 1、アナログ 2、および再生 1-2 のレベルを調整します。
最終メーター下 **ダイレクトモニター** は、モニター出力とヘッドフォン出力に送られる結合レベルを示しています。

ミキサーチャンネルの使用

各ミキサーチャンネルでは、様々な設定が行えます。



1. ミキサーチャンネル名

ミキサー入力名が表示されます。

2. フェーダー

フェーダーは、ミックス先へのレベルを調整します。Alt キー、オプション キー、またはダブルクリックしてリセットします。フェーダーは、録音されるソースの信号レベルには影響しません。

3. メーター

チャンネルレベルを dBFS 単位で表示します。緑色はレベルが良好、橙色はレベルが非常に高いことを示します。ステレオチャンネルでは 2 つのメーターが表示され、左右チャンネルのレベルを確認できます。メーターは、ポストフェーダーのレベルを表示します。つまりフェーダーの値がメーター表示に影響します。

4. ミュートおよびソロ

ミュート - **M** ボタンをクリックすると、ミックス内でそのチャンネルが無音になります。ミュートを有効にすると、ミュートボタンが青色に点灯します **M**。複数のチャンネルを同時にミュートすることもできます。

ソロ - **S** ボタンをクリックすると、ミックス内のその他のチャンネルが無音になります。ソロを有効にすると、ソロボタンが黄色に点灯します **S**。複数のチャンネルを同時にソロに設定することも可能です。この場合は、ソロにされていないすべてのチャンネルがミュートされます。

ミュートとソロを同時に有効にすると、最後にクリックされたボタンが優先的に有効になります。

ヘッドフォン出力



ヘッドフォン出力部は 6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャック用となっています。多くのヘッドフォンの端子は 3.5mm TRS ジャックとなっていますが、これらのヘッドフォンを Scarlett Solo に接続するには、TRS 6.35mm - 3.5mm 変換アダプターを使用してください。

ヘッドフォン出力レベルはヘッドフォン出力コネクタ上部のノブで調整できます。

一部の高インピーダンスヘッドフォンを Scarlett Solo で使用すると、ヘッドフォンボリュームが十分とまらない場合があります。そのため、インピーダンス 300Ω 以下のヘッドフォンの使用をお勧めします。



注記

一部のヘッドフォンおよびジャックアダプターの中には、TS または TRRS コネクタを備えているものがあります(マイクやボリュームコントロールがケーブルに組み込まれている製品など)。これらのヘッドフォンは Scarlett で正常に使用できない可能性があるため、問題が発生した場合は TRS 仕様のヘッドフォンおよびジャックアダプターを使用してください。

リアパネルの詳細

本章では、Scarlett Solo のリアパネルのすべての機能を紹介し、Focusrite Control 2 での操作方法についても解説します。

USB 接続

USB ポート

USB と記載されている USB タイプ C ポートは、Scarlett とコンピュータを接続するために使用します。



コンピュータと接続することで、USB 電源供給、双方向オーディオ伝送、Focusrite Control 2 への接続が確立されます。



USB アイコンが赤く点滅する場合

USB アイコンが赤く点滅する場合は、Scarlett Solo に十分な電源が供給されていないことを意味します。

この問題を解決するには：

- Scarlett 付属の USB ケーブルを使用していることを確認します。
- コンピュータの別の USB ポートに USB ケーブルを接続し直します。また USB ハブを使用せずコンピュータと Scarlett を直接接続します。
- コンピュータの USB ポートが 900mA の電源を供給できることをご確認ください。Scarlett Solo の動作には、900mA の電源が必要です。

スピーカー出力

Outputs L および **R** は、Scarlett Solo をアンプやアクティブモニターに接続するためのラインレベル出力です。バランス 1/4 インチ TRS ジャックを備え、アンバランス TS またはバランス TRS ケーブルを使用できます。

Scarlett Solo のフロントパネルにある **Output** ノブにて、**Outputs L** および **R** に送られる信号レベルを調整できます。

マイク入力

3 ピン XLR コネクタ **Input** は、マイクを接続するための入力端子です。

マイク入力レベルは、フロントパネルの対応する入力ゲインノブで調整できます。コンデンサーマイクを使用する場合は、48V ファンタム電源も利用できます。ファンタム電源は、フロントパネルの 48V ボタンで有効にできます。

Studio Pack 付属アクセサリー

CM25 MkIII マイクロフォン

Scarlett Studio Pack 付属の Scarlett CM25 MkIII マイクロフォンは、ボーカルや様々な生楽器をスタジオ品質で録音できるコンデンサーマイクです。

どんなソースにも使用できますが、CM25 MKIII の明るくクリアで繊細なキャラクターは、ボーカルやギターの録音に最適となります。

ボーカルやナレーション録音時のポップノイズや風切り音を防ぐ、専用のポップガードも付属しています。

Scarlett Solo で CM25 MkIII を使用するには：

1. 使用するチャンネルの入カゲインを最小値に設定し、48V をオフにします。
2. XLR-XLR ケーブルを用いて、CM25 MkIII を Scarlett Solo の XLR 入力に接続します。
3. **48V** ボタンを押し、48V ファンタム電源を有効にします。
4. **プリアンプの入カゲインを設定する**の章の手順に従い、入カゲインを設定します。

スタジオ環境が整ってなくてもすぐにレコーディングを開始できるように、Scarlett Studio には巧妙に考案されたシンプルなマイクスタンドが付属します。

Focusrite では資源を無駄にしない製品デザインの実現を目指し、製品の梱包材をマイクスタンドとして利用できるように設計しました。

輸送時の本体保護用に含まれるボックス内の段ボールシートがマイクスタンドとして再利用可能となっており、即座にレコーディングを開始いただけます。



SH-450 ヘッドフォン

SH-450 は、Scarlett SoloStudio Pack に付属するヘッドフォンです。レコーディングやミキシング、DJ、また正確なヘッドフォンモニタリングが必要な場面でプロクオリティのサウンドを提供するために設計されています。

優れた着け心地と耐久性のフレームで長時間快適に着用可能となっている上に、密閉型デザインが外部のノイズを遮断するため、集中してレコーディングに打ち込むことができます。



DAW (録音ソフトウェア) のセットアップ

Scarlett は、ASIO (Windows) および Core Audio (macOS) に対応する DAW で使用できません。

以下では、主要な DAW で Scarlett をセットアップしレコーディングを開始するための手順を紹介します。より詳しい情報は、お使いの DAW のユーザーガイドをご参照ください。

コンピュータに以下で解説する DAW がインストールされていない場合は、Scarlett 付属の Ableton Live Lite および Pro Tools Artist をご利用ください。これらの DAW は [イージースター](#) または [Focusrite アカウント](#) からダウンロード可能です。



ヒント DAW とは？

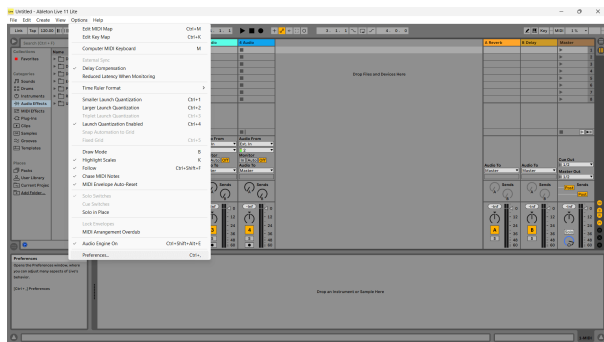
DAW (デジタルオーディオワークステーション) とは、音楽のレコーディング、アレンジ、制作を行うためのソフトウェア全般を指す用語です。

Ableton Live

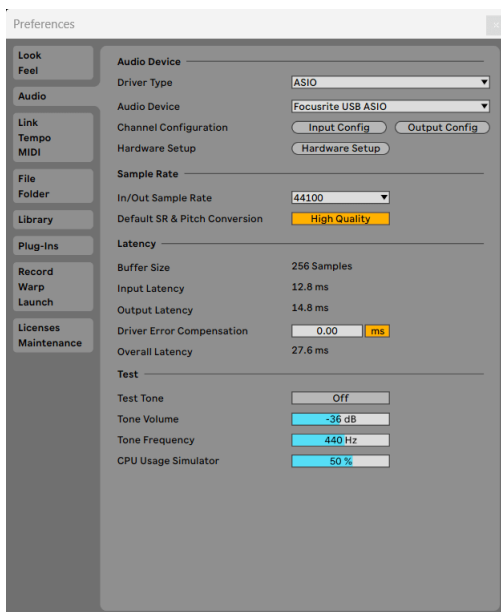
Ableton Live のセットアップ手順は、以下の通りです：

Windows

1. コンピュータにインストールされている Ableton Live を起動します。
2. オプション &glt; 環境設定... を選択します。



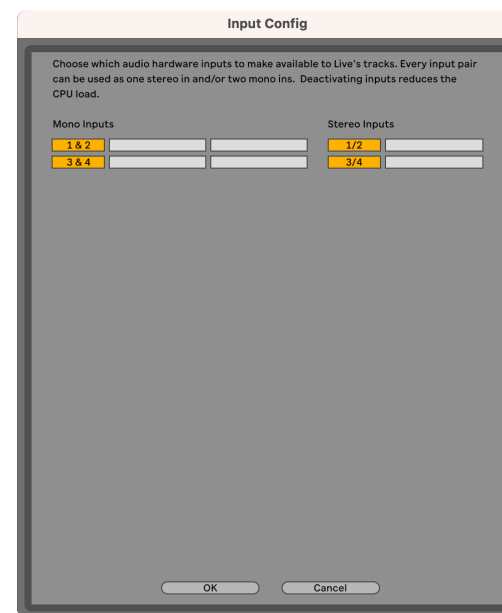
3. 環境設定ウィンドウの左側の項目から **Audio** タブを選択します。
4. **ドライバタイプ**で **ASIO** を、**オーディオデバイス**で **Focusrite USB ASIO** を選択します。



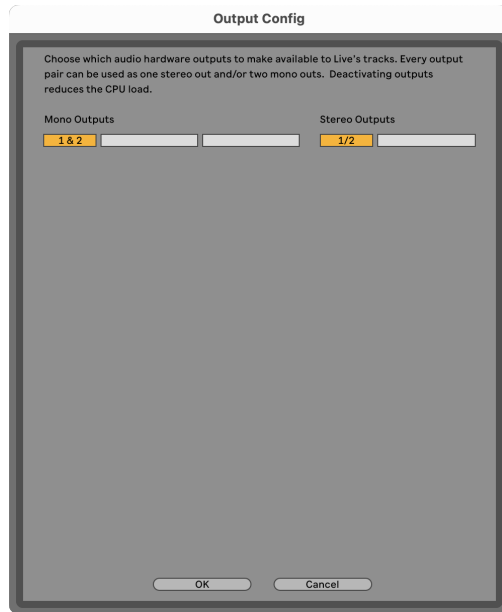
5. 入力設定をクリックします。

次の手順では、インターフェースのすべての入力を Ableton Live の入力チャンネルとして表示させるための設定を行います。

6. **モノ**および**ステレオ**入力の各項目をクリックして選択します。ここで選択した項目が、Live の入力チャンネルとして選択可能になります。



7. **OK** をクリックします。
8. Scarlett Solo から複数チャンネルを出力したい場合は、**出力設定**で同様の設定を行います。



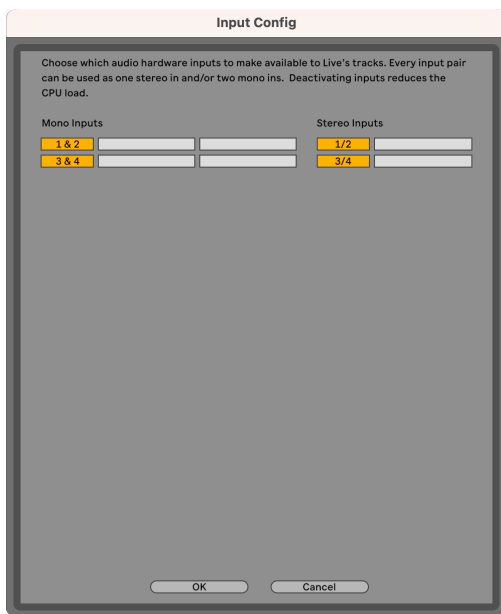
9. 環境設定ウィンドウを閉じます。

Mac

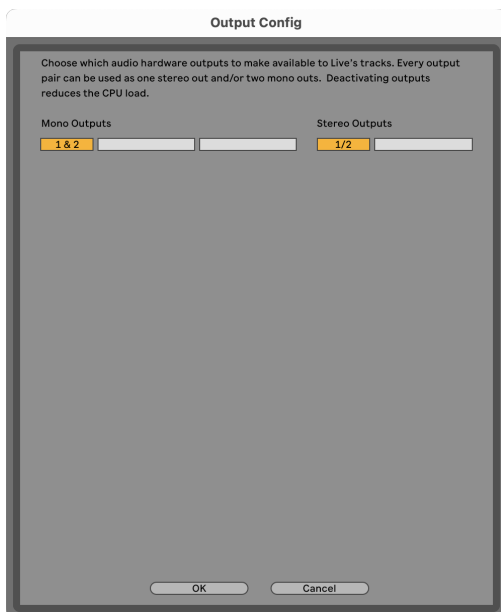
1. コンピュータにインストールされている Ableton Live を起動します。
2. メニューバーの **Live** をクリックします。
3. **設定...** をクリックします。
4. 環境設定ウィンドウの左側の項目から **Audio** タブを選択します。
5. **オーディオ入力デバイス**および**オーディオ出力デバイス**で Scarlett Solo 4th Gen を選択します。



6. **入力設定**をクリックします。
次の手順では、インターフェースのすべての入力を Ableton Live の入力チャンネルとして表示させるための設定を行います。
7. **モノ**および**ステレオ**入力の各項目をクリックして選択します。ここで選択した項目が、Live の入力チャンネルとして選択可能になります。これにより、最大 four チャンネルの入力が Live に表示されます。



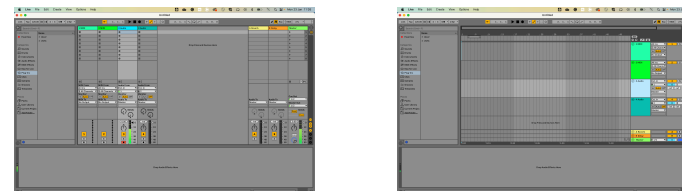
8. **OK** をクリックします。
9. Scarlett Solo から複数チャンネルを出したい場合は、**出力設定**で同様の設定を行います。



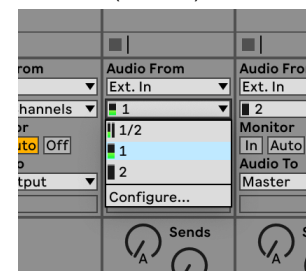
10. 環境設定ウィンドウを閉じます。

Ableton Live で録音する

1. Ableton Live のメインウィンドウで**オーディオトラック**をクリックします。Live には 2 種類のビュー (セッションビューおよびアレンジメントビュー) があります。下のスクリーンショットは、各ビューでオーディオトラックを選択した様子を示しています。



2. **Audio From** のドロップダウンメニューから **Ext. In** を選択し、入力チャンネルをインターフェイスで使用する入力 (1 など) に設定します。



3. **Monitor** で **Auto** を選択します。
これにより Scarlett から入力される信号を聴くことができます。



4. トラック下部の**アームボタン**をクリックします。トラックアームが赤く点灯し、アームが有効になったことを示します。
Scarlett へ信号が入力されると、Ableton Live の入力メーターが反応します。



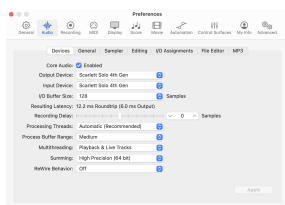
5. 録音の準備ができたら、トランスポートバーの  をクリックします。



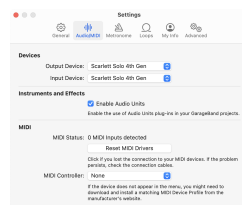
Logic および GarageBand

Logic Pro および GarageBand のセットアップ手順は以下の通りです：

1. コンピュータにインストールされている Logic Pro または GarageBand を起動します。プロジェクトを選択ダイアログが表示された場合は、空のプロジェクトを選択するか、テンプレートを選択します。
2. **トラックのタイプ**を選択ウィンドウでオーディオを選択します。
3. **入力**を入力 1 に設定します。
入力が表示されない場合は、**デバイス:**が Scarlett Solo に設定されているかを確認します。
 - a. デバイスセクション右の矢印をクリックします。
 - b. 設定ウィンドウの**出力デバイス**および**入力デバイス**で Scarlett Solo 4th Gen を選択します。

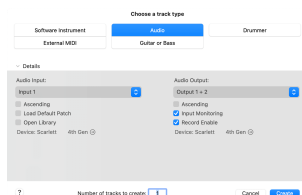


Logic Pro X

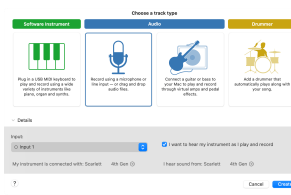


GarageBand

- c. **適用**をクリックします (Logic のみ)。
 - d. **環境設定または設定**ウィンドウを閉じます。
4. Logic Pro : **入力モニタリング**と**録音を可能にする**のチェックボックスを選択します。
GarageBand : **演奏や録音中に自分の音源の音を聴く**のチェックボックスを選択します。
これにより Scarlett から入力される信号を聴くことができます。
 5. **作成**をクリックします。



Logic Pro



GarageBand

6. 録音の準備ができたなら、Logic/GarageBand の録音ボタンをクリックします。

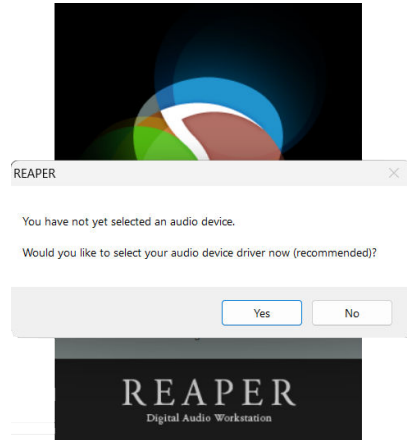




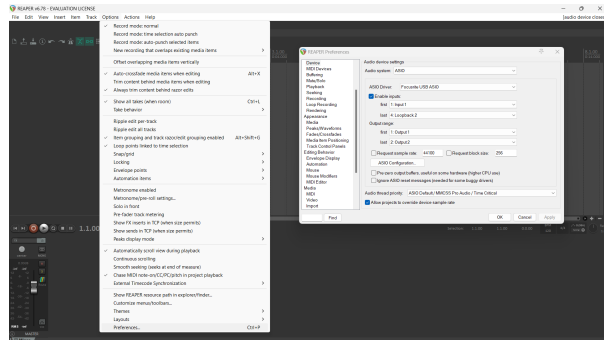
Reaper のセットアップ手順は、以下の通りです：

Windows

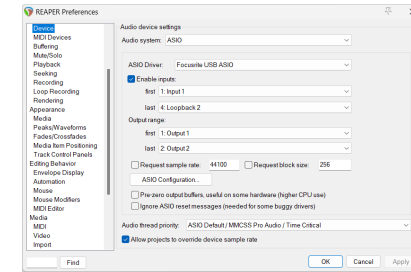
1. コンピュータにインストールされている Reaper を起動します。
2. オーディオデバイスドライバーの選択を促すポップアップウィンドウが表示された場合は、**Yes** をクリックします。



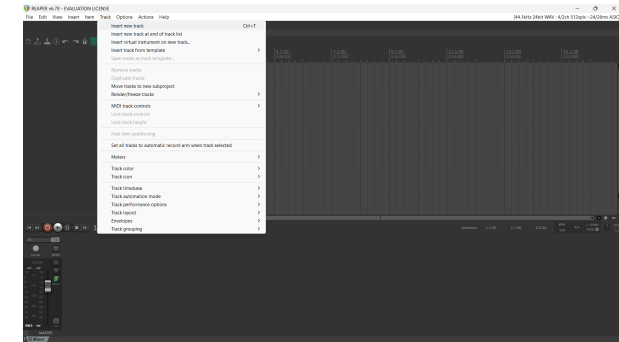
ポップアップウィンドウが表示されなかった場合は、メニューから **Options > Preferences > Device** を選択します。



3. **Audio device settings** が表示されます。



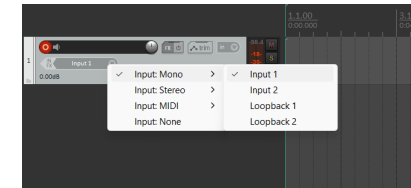
- a. **Audio** : ドロップダウンメニューで **ASIO** を選択します。
 - b. **ASIO Driver**: ドロップダウンメニューで **Focusrite USB ASIO** を選択します。
4. **OK** をクリックします。
 5. トップメニューから **Track > Insert New Track** を選択します。



6. 赤色の録音アームボタンをクリックします。



7. **Input 1** ボックスをクリックし、Scarlett Solo の入力を選択します。

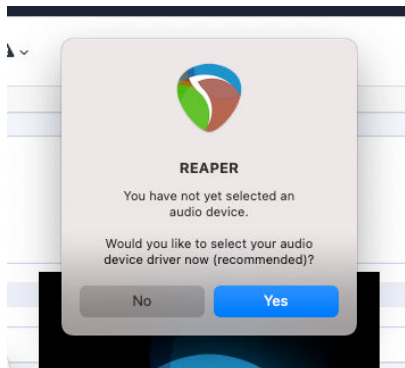


8. 録音の準備ができたなら、ウィンドウ下部の録音ボタンをクリックします。

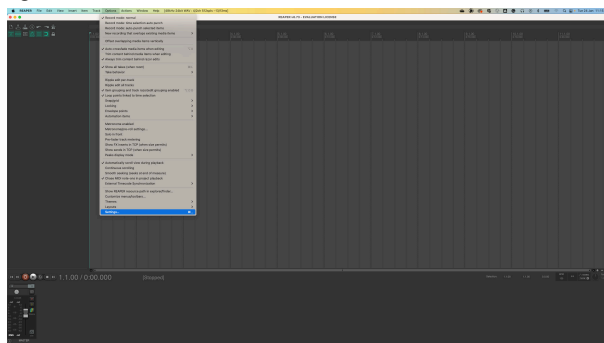
Mac

1. コンピュータにインストールされている Reaper を起動します。

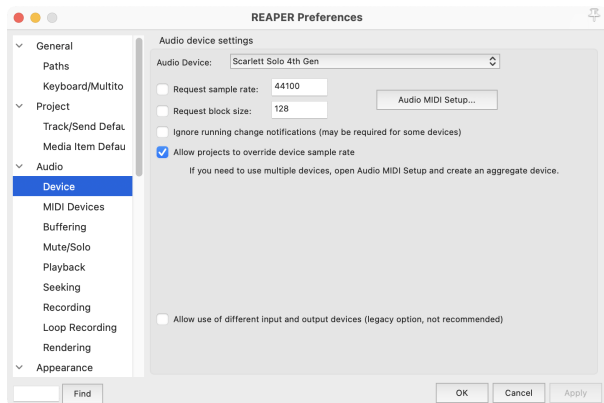
- オーディオデバイスドライバの選択を促すポップアップウィンドウが表示された場合は、**Yes** をクリックします。



ポップアップウィンドウが表示されなかった場合は、メニューから **Options &t; Settings &t; Device** を選択します。

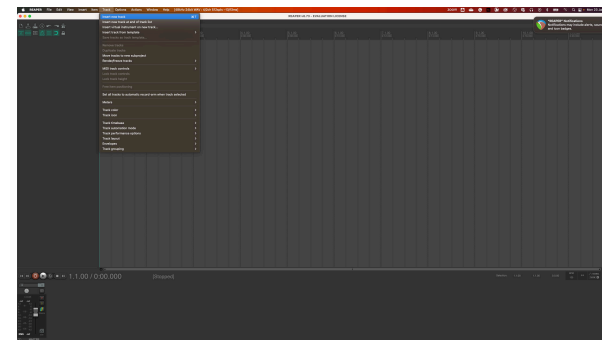


- Audio Device** ドロップダウンメニューで **Scarlett Solo** を選択します。

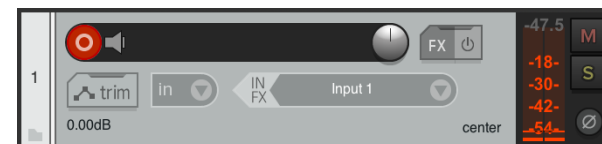


- OK** をクリックします。

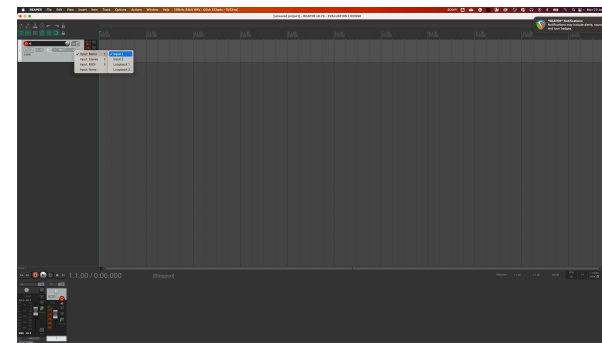
- トップメニューから **Track &t; Insert New Track** を選択します。



- 赤色の録音アームボタンをクリックします。



- Input 1** ボックスをクリックし、Scarlett Solo の入力を選択します。

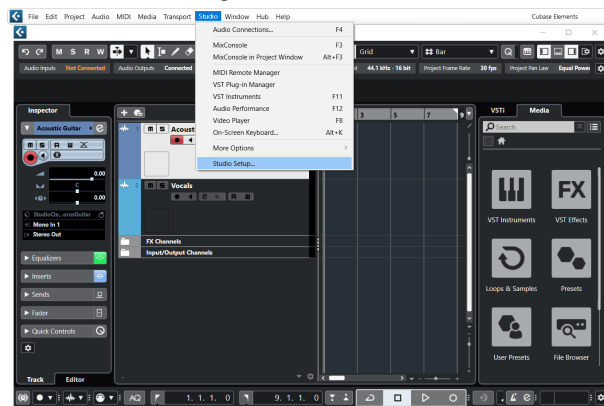


- 録音の準備ができたなら、ウィンドウ下部の録音ボタンをクリックします。

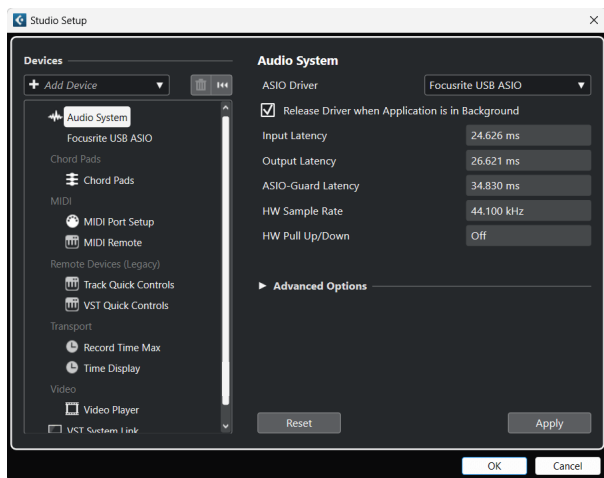
Cubase

Windows

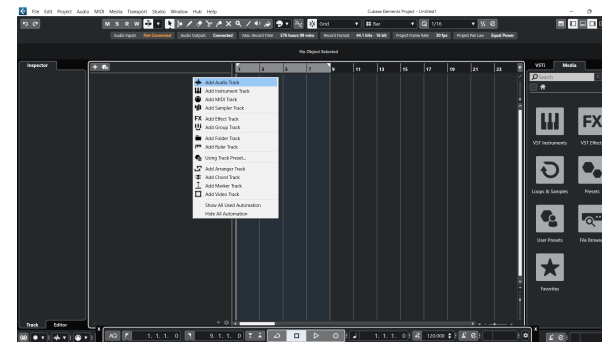
1. コンピュータにインストールされている Cubase を起動します。
2. トップメニューからスタジオ > スタジオ設定...を選択します。



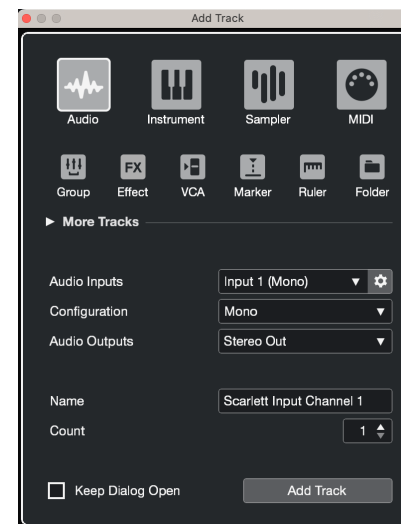
3. ウィンドウ左側の項目から、オーディオシステムを選択します。
4. **ASIO ドライバー**ポップアップメニューで Focusrite USB ASIO を選択します。



5. 適用をクリックします。
6. MixConsole 内を右クリックします。
7. Audioトラックを追加をクリックします。



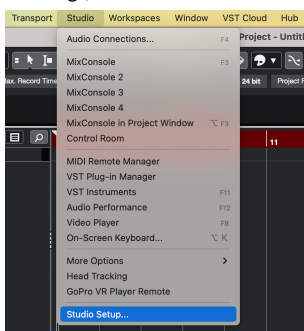
8. トラックタイプをオーディオに設定し、オーディオ入力をお使いのインターフェースの入力チャンネルに設定します。



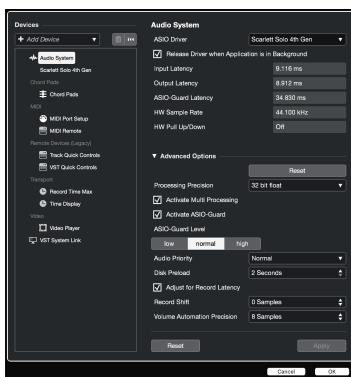
9. トラックを追加をクリックします。
10. 録音したい Cubase のチャンネルで録音可能ボタンとモニタリングボタン (オフ) をクリックすると、録音が有効になると同時に入力信号のモニタリングが有効になります。
11. トラックパネルで録音ボタン をクリックすると、録音が始まります。

Mac

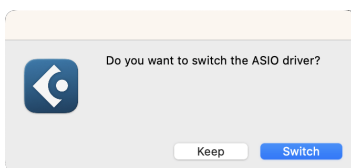
1. コンピュータにインストールされている Cubase を起動します。
2. トップメニューからスタジオ > スタジオ設定...を選択します。



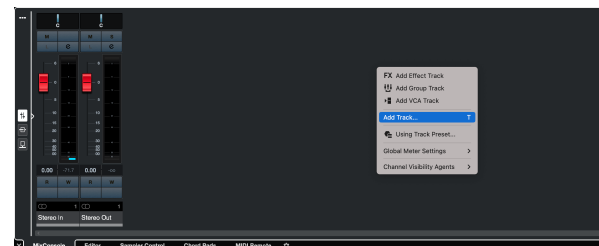
3. ASIO ドライバーを Scarlett Solo 4th Gen に選択します。



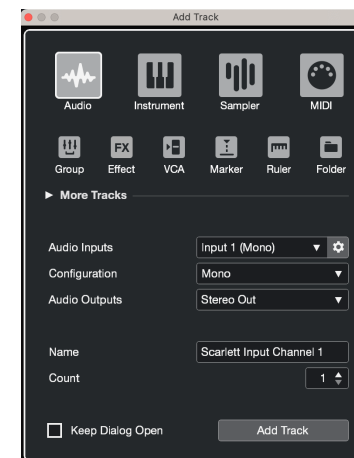
4. 切り替えをクリックします。



5. 適用をクリックします。
6. MixConsole 内を右クリックします。
7. トラックを追加をクリックします。



8. トラックタイプをオーディオに設定し、オーディオ入力をお使いのインターフェースの入力チャンネルに設定します。



9. トラックを追加をクリックします。
10. 録音したい Cubase のチャンネルで録音可能ボタンとモニタリングボタン (オフ) をクリックすると、録音が有効になると同時に入力信号のモニタリングが有効になります。
11. トランスポートパネルで録音ボタン をクリックすると、録音が始まります。

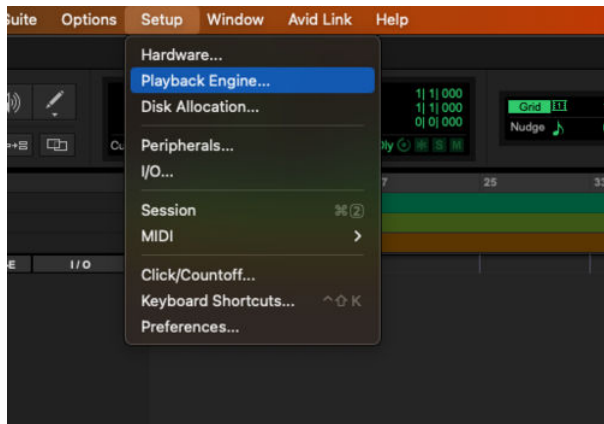


Pro Tools

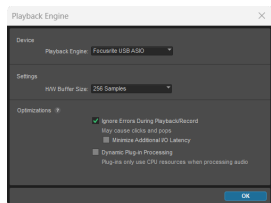
Pro Tools のセットアップ手順は、以下の通りです：

Mac および Windows

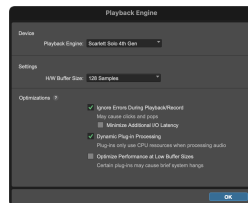
1. コンピュータにインストールされている Pro Tools を起動します。
2. メニューから設定 > プレイバックエンジン... を選択します。



3. プレイバックエンジンのドロップダウンメニューで Focusrite USB ASIO (Windows) または Scarlett Solo 4th Gen を選択します。

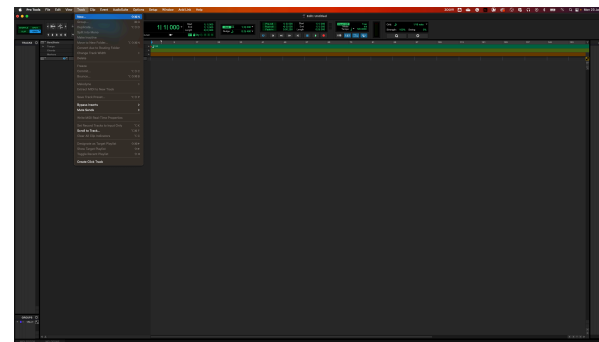


Windows

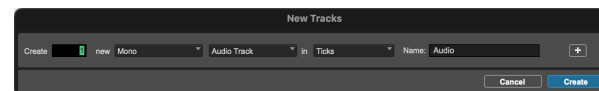







Mac

4. メニューからトラック > 新規... を選択します。



5. 必要なトラック数を入力し、トラックのタイプでオーディオトラックを選択します。

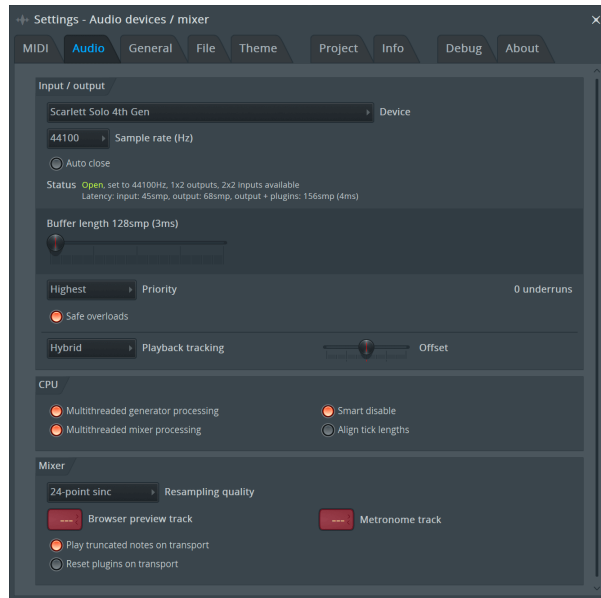


6. 作成をクリックします。
7. トラックのレコードアームボタン  およびインプットモニターボタン  をクリックします。
これにより Scarlett から入力される信号を聴くことができます。
8. Pro Tools ウィンドウ上部の録音ボタン  をクリックすると、ボタンが赤く点灯します .
9. 再生ボタン  を押すと、録音が始まります。

FL Studio

FL Studio のセットアップ手順は、以下の通りです：

1. コンピュータにインストールされている FL Studio を起動します。
2. **Options** & **Audio Settings** を選択します。
3. **Input / output** セクションの Device ドロップダウンメニューで Scarlett Solo 4th Gen (Windows では Focusrite USB ASIO) を選択します。



4. Settings ウィンドウを閉じます。
5. **Mixer** ウィンドウを開き、録音したいトラックのインサートを選択します。
6. **(none)**となっている外部入力のドロップダウンメニューにて、使用するインターフェイス入力を選択します。例：モノラル入力の場合 **Input 1**、ステレオ入力の場合 **Input 1 - Input 2** を選択。



7. トランスポートセクションの録音ボタンをクリックします。





- 表示される **What would you like to record?** ウィンドウで必要に応じてオプションを選択します。
選択オプションに関する詳細は、FL Studio のヘルプファイルをご参照ください。

8. 録音の準備ができたら、トランスポートセクションの再生ボタンをクリックします。

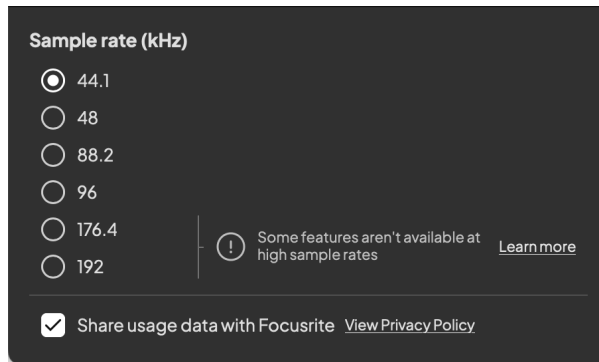


Focusrite Control 2

Focusrite Control 2 の設定

Focusrite Control 2 ウィンドウ右上のリーダーアイコン  から、 をクリックすると設定ページが表示されます。

設定ページでは、以下の項目を設定できます：



サンプルレート (kHz)

サンプルレートとは、コンピュータが 1 秒間に録音を行うサンプル数のことです。サンプルレートが高いほど高音質になりますが、それに伴い録音データのサイズが大きくなり、より多くのハードディスク容量が必要となります。

多くの場合、レコーディングには 44.1kHz が十分以上の音質となります。



注記

以下の機能は、クワッドバンド (サンプルレート 176.4kHz および 192kHz) では使用できません。

- Air モード (Harmonic Drive)
- クリップセーフ

クロックソース

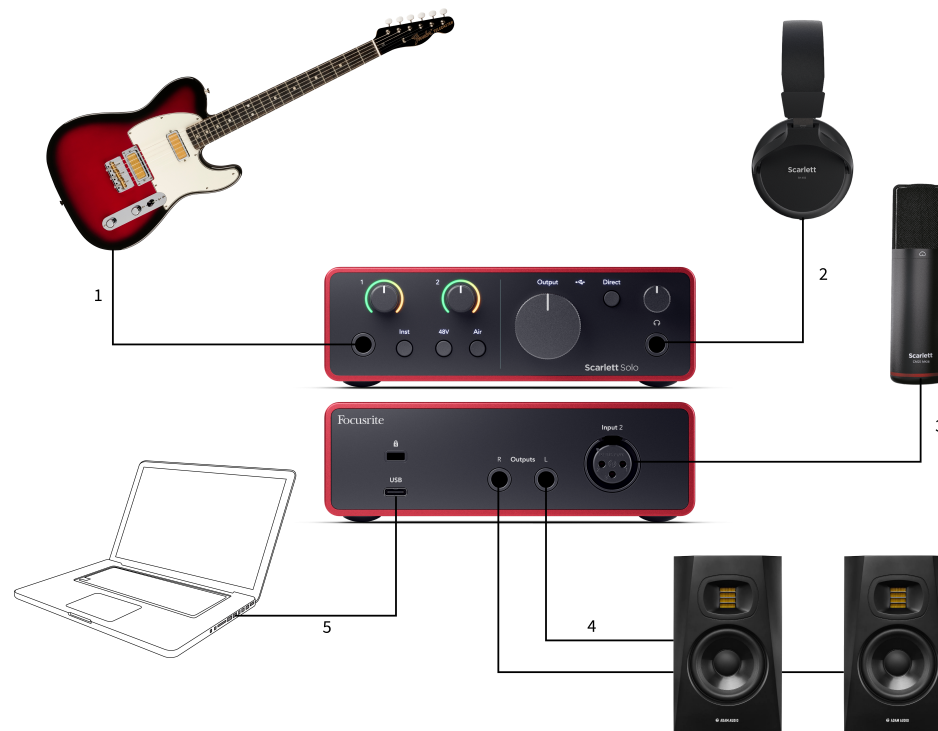
分析

このチェックボックスを使用して、利用状況分析を有効にし、改善 Focusrite Control 2 に役立ててください。詳細については、[プライバシーポリシー](#) をご覧ください。

使用例

入出力の接続

下の図は、様々な入出力機器と Scarlett Solo の接続例です。外部プロセッサやシンセサイザー、キーボードの接続方法については、[ラインレベル機器を接続する \[33\]](#)をご参照ください。



1. ギター、ベース、エレキアコースティックギターやその他の楽器はフロントパネルの 6.35mm ジャック入力 **1** に接続します。楽器を接続する場合は、6.35mm - 6.35mm TS モノラルケーブルを使用し、**Inst** ボタンでインストゥルメント入力を有効にします。
2. ヘッドフォン (Scarlett SH-450 など) を 6.35mm ジャックを使用してヘッドフォン出力に接続します。ヘッドフォンの接続には、TRS ジャックコネクタを使用する必要があります。お使いのヘッドフォンのジャックコネクタが小さい場合は、変換アダプターを使用してください。
3. XLR - XLR ケーブルを使用してマイク (CM25 MkIII など) を入力 **2** に接続します。マイクの接続には XLR ケーブルを使用する必要があります。その他のケーブルで接続すると、マイクが機能しないか、問題が生じる場合があります。
4. モニタースピーカー (モニターとも呼ばれます) を出力 **R** および **L** (左右チャンネル) に接続します。モニタースピーカーとの接続には、6.35mm バランス TRS ケーブルを使用してください。お使いのモニタースピーカーが TRS 接続に対応していない場合の対処法は、モニタースピーカーのユーザーガイドをご参照ください。
5. Scarlett とコンピュータを **USB** ケーブルで接続します。

ラインレベル機器を接続する

下の図は、ラインレベル機器を Scarlett Solo のライン入力に接続する場合の接続例です。



1. シンセサイザーやキーボード、マイクプリアンプなどのラインレベル機器をフロントパネルの 6.35mm ジャック入力 **1** に接続します。ラインレベル機器の接続には、6.35mm - 6.35mm TRS ケーブルを使用してください。また入力はモノラル入力であることにご注意ください。Scarlett Solo にラインレベル機器を接続する場合は、**Inst** 機能を無効にしてください。

ループバック

ループバック機能を使用すると、コンピュータから出力されたオーディオ信号をインターフェースに接続されているマイクや楽器の信号と共に録音ソフトウェアの別のチャンネルに録音できます。

ループバックを使用するには、DAW ソフトウェアで入力 channels 3-4 を選択します。

ループバックは、コンピュータから出力されたオーディオ出力を「ループバック」し、Scarlett のバーチャル入力チャンネルに送信します。コンピュータから出力されるあらゆるオーディオ信号を DAW (デジタルオーディオワークステーション) に録音可能です。



重要

ループバック使用の際は、フィードバックループの発生を防ぐため、録音ソフトウェアのチャンネルをミュートしてください。

スタンドアロンモード

Scarlett Solo は、コンピュータに接続してなくても単独で動作してオーディオ信号を伝送できるスタンドアロンモードを備えます。スタンドアロンモードは、以下の用途などに活用できます：

- 他のインターフェースのプリアンプ数を増やしたい、またはラインレベル入力しか搭載されていないミキサーでプリアンプを使用したい場合。
- コンピュータを起動したり接続したりせずに、スタジオセットアップを使用したい場合 – ギターやその他の電子楽器の音を、コンピュータを使用せずにスピーカーから直接出力できます。

スタンドアロンモードを有効にするには：

1. Scarlett の電源ソケットに電源ケーブルを接続します。スマートフォン充電用の USB 電源アダプターなどが使用可能です。
2. 通常通りインターフェースに入出力を接続します ([使用例参照](#))
3. ダイレクトモニター機能を有効にして、入力信号を出力 (ヘッドフォンおよびライン出力) にルーティングします。

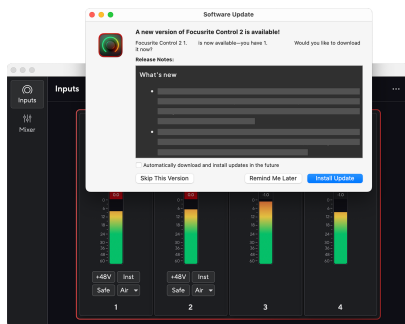
アップデート

Focusrite Control 2 のアップデート

Focusrite では、ユーザーの皆さまが Scarlett Solo を最大限に活用いただけるよう、新機能の追加や改善を施す Focusrite Control 2 のアップデートを臨時提供しています。

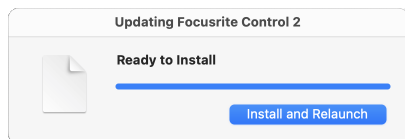
以下の 2 つの方法で、Focusrite Control 2 が最新バージョンであることを確認できます：

1. Focusrite Control 2 内でアップデーターを使用：
 1. Focusrite Control 2 を起動します。
 2. Focusrite Control 2 では、2 通りの方法でアップデートが可能です。
 - a. アップデートが検出されると、ダイアログウィンドウが自動的に表示されます。Install Update をクリックすると、アップデートが開始されます。



- b. お使いの Focusrite Control 2 が最新バージョンであることを確認するには、アプリケーションウィンドウ右上のリーダーアイコンから、Check for updates をクリックします。
 3. アップデーターのダウンロードが完了すると表示されるポップアップウィンドウで Install and Relaunch をクリックします。

Focusrite Control 2 のアップデート時、ソフトウェアがリセットされる前に以下のウィンドウが表示されます。



2. Focusrite のダウンロードページから Focusrite Control 2 をダウンロードします：

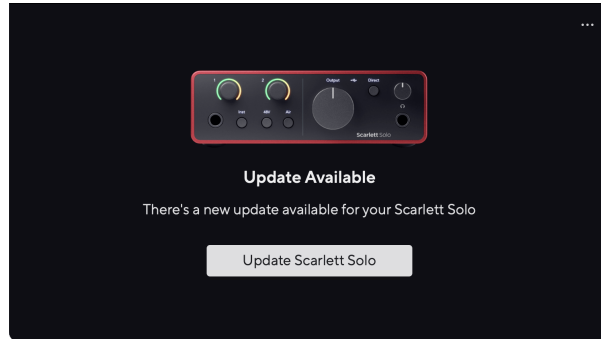
1. フォーカスライトのダウンロードウェブサイトに移動します。
focusrite.com/downloads
2. ダウンロード Web サイトであなた Scarlett を見つけてください。
3. お使いのオペレーティングシステム(Windows または Mac)用にダウンロード Focusrite Control 2 してください。
4. コンピューターのダウンロードフォルダーを開き、Focusrite Control 2 インストーラーをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従ってインストール Focusrite Control 2 します。Windows 用にインストール Focusrite Control 2 する場合は、コンピュータが再起動します。
6. まだ接続していない場合は、インターフェイスを USB ケーブルでコンピュータに接続します Scarlett。
7. Focusrite Control 2 を起動すると、Scarlett が自動的に認識されます。

Scarlett のアップデート

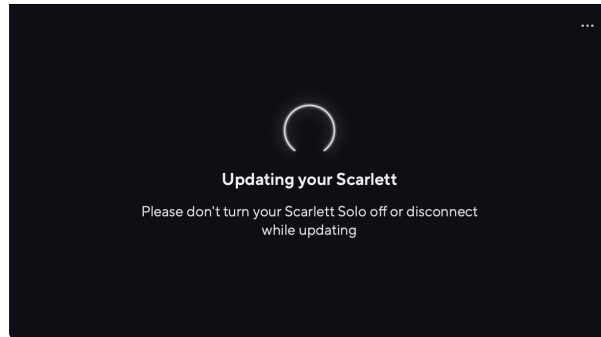
Focusrite は、お客様が Scarlett を最大限に活用いただけるよう、新機能の追加や改善を施す Scarlett Solo のアップデートを臨時提供しています。Scarlett Solo のファームウェアは、Focusrite Control 2 からアップデート可能です。

Scarlett をアップデートするには：

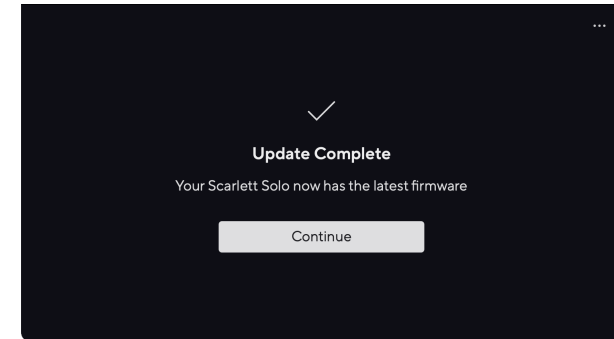
1. Focusrite Control 2 を起動します。
アップデートが利用可能な場合は、Focusrite Control 2 起動時にメッセージが表示されます。



2. Update Scarlett Solo をクリックします。
Focusrite Control 2 がアップデートを開始します。アップデート中は Scarlett Solo の接続を取り外さないでください。



3. アップデート完了後、Continue をクリックします。



以上で Scarlett Solo は最新版にアップデートされ、通常通りご使用いただけます。

仕様

以下の仕様は、お使いの機器が Scarlett Solo で使用できるか確認するための参考情報となります。通常 Scarlett Solo は、ほとんどの機器で使用可能なため、これらの情報についての知識がなくても問題ございません。

性能仕様

実測値は、可能な限り AES17 に準拠して測定しています。

対応サンプルレート	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
ビット深度	24 ビット

マイク入力

周波数特性	20Hz ~ 20kHz ±0.05dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	113dB
THD+N	-100dB (-1dBFS@最小ゲイン)
ノイズ EIN (A 特性)	-127dBu (A 特性)
最大入力レベル (最小ゲイン)	9.5 dBu
ゲインレンジ	57dB
入力インピーダンス	3kΩ

ライン入力

周波数特性	20 ~ 20kHz ± 0.05dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	113dB
THD+N	-100dB (最小@最小ゲイン)
最大入力レベル (最小ゲイン)	22dBu
ゲインレンジ	57dB
入力インピーダンス	60kΩ

楽器入力

周波数特性	20Hz ~ 20kHz ±0.15dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	112dB
THD+N	-80dB (最小@ 8dB ゲイン)
最大入力レベル (最小ゲイン)	13dBu
ゲインレンジ	57dB
入力インピーダンス	1MΩ

ライン出力 1 と 2 (バランス)

周波数特性	20 ~ 20kHz ±0.02dB
ダイナミックレンジ (A 特性)	120dB
最大出力レベル	16 dBu

ライン出力 1 と 2 (バランス)

THD+N	-109dB
出力 1-2	
出力インピーダンス	200Ω

ヘッドフォン出力

周波数特性	20 ~ 20kHz ± 0.1dB @ 33Ω / 300Ω
ダイナミックレンジ (A 特性)	112dB @ 33Ω
	115dB @ 300Ω
最大出力レベル	2.5dBu (33Ω)
	10dBu (300Ω)
最大出力電力	2.5dBu (33Ω)
	10dBu (300Ω)
THD+N	-97dB @ 33Ω (最小)
	-102dB @ 300Ω (最小)
出力インピーダンス	50Ω

物理的特性と電気的特性

アナログ入力

コネクタ	リアパネル Neutrik XLR 入力 x1 フロントパネル 6.35mm (1/4 インチ) ジャック入力 x1
ファンタム電源 (48V)	フロントパネル 48V (ファンタム電源) ボタンまたはソフトウェア内スイッチ
ライン/楽器切替	フロントパネル Inst ボタンまたはソフトウェア内スイッチ
'AIR' 機能	フロントパネル Inst ボタンまたはソフトウェア内スイッチ

アナログ出力

バランス出力	リアパネル 6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャックソケット x2
ヘッドフォン出力	フロントパネルステレオ 6.35mm (1/4 インチ) TRS ジャックソケット
メイン出力レベルコントロール	フロントパネルアナログコントロールノブ
ヘッドフォンレベルコントロール	フロントパネルアナログコントロールノブ

その他の入出力

USB	電源供給およびデータ伝送用 USB 2.0 タイプ C コネクタ x1 電源とデータ用の USB 2.0 Type-C コネクタ x1
-----	--

フロントパネルのインジケータ

48V	白/緑 48V LED (選択チャンネルによる)
Inst	白/緑 Inst LED (選択チャンネルによる)
Air モード	白/緑 Air LED (選択チャンネルによる)
USB	緑 USB  LED
ダイレクトモニター	白/緑 Direct LED

重量および寸法

重量	382g (0.84lbs)
高さ	46.5mm (1.83 インチ)
幅	143mm (5.63 インチ)
奥行	96mm (3.78 インチ)

動作環境

動作気温	最大動作温度 : 40°C / 104°F
------	-----------------------

Solo チャンネルの順序

入力チャンネル

入力	Channel
1	インストゥルメント/ライン入力
2	マイク入力
3	Loopback 1
4	Loopback 2

出力チャンネル

出力	Channel
1	Output L (ヘッドフォン左)
2	Output R (ヘッドフォン右)



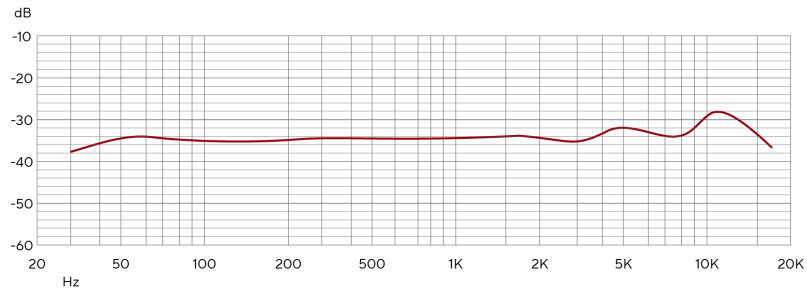
注記

Outputs 1 および 2 への信号は、ヘッドフォン出力にも送信されます。すべてのライン出力信号が、ヘッドフォン出力からも出力されます。

CM25 Mk III マイクロフォン仕様

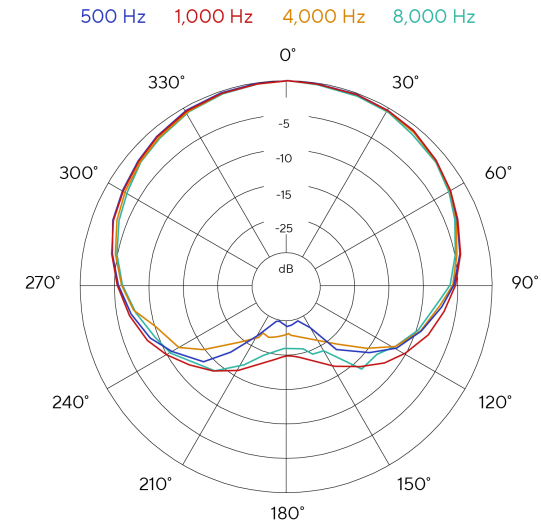
カプセル	
エレメント	エレクトレットコンデンサー
カプセル直径	20mm
ポラーパターン	単一指向性 (カーディオイド)
動作および電気的特性	
感度	-36dB ±2dB (0dB = 1V/Pa @ 1kHz)
周波数特性	30Hz - 18kHz
インピーダンス	100Ω ±30% (@ 1kHz)
等価雑音レベル	16dBA (A 特性 IEC651)
S/N 比	74dB
電源要件	48V ファンタム電源
現行	3mA

周波数特性グラフ



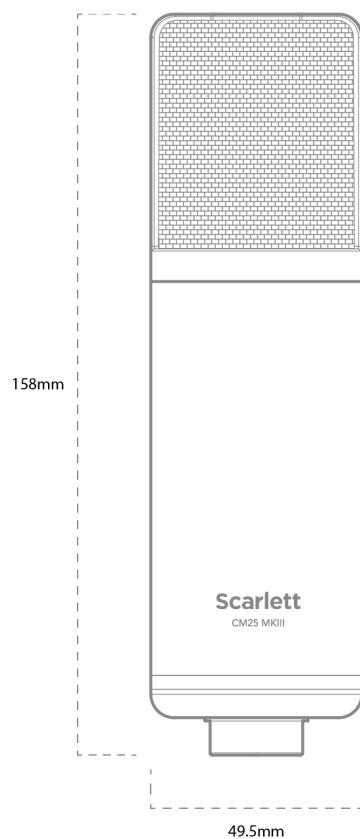
マイクロフォン周波数特性グラフは、各周波数におけるマイクの感度を示します。グラフがフラットな場合、マイクが周波数帯域全体を均一に取り込める事を示します。ピークやディップがある場合は、その周波数帯の感度に偏差があることを示します。CM25 MkIII はオールラウンドに使えるマイクとして設計されていますが、ボーカルや生楽器のレコーディングに特に適しています。

極性パターングラフ



マイクロフォン極性パターングラフは、マイクが周囲の各方向からの音をどのように取り込めるかを周波数毎に示します。マイクの極性パターンにはいくつかの種類があり、CM25 MkIII はカーディオイドパターンを採用しています。ハート型のパターンを特徴とし、前面 (0°) からの音を主にピックアップすると同時に側面 (270°および 90°) および背面 (180°) の音を遮断するため、背景ノイズを最小限に抑えたい場面に最適な極性パターンです。

寸法



本体の特徴

取付	5/8 インチマイククリップ (3/8 インチネジ穴アダプタ付属)
正味重量	388g (マイククリップなし)
	496g (マイククリップあり)
寸法	直径 : 49.5mm (1.95 インチ)
	長さ : 158mm (6.22 インチ)

SH-450 ヘッドフォン仕様

仕様

タイプ	密閉型
イヤープッド形状	サーカムオーラル (オーバーイヤー)
インピーダンス	32Ω
感度	96dB ±3
周波数特性	15Hz - 30kHz
定格電力	350mW
最大電力	1800mW
ケーブル長	≈3m
コネクタ	3.5mm TRS ジャックプラグ
	ネジ式 3.5mm - 6.35mm アダプタ付属
重量	300g (アダプタを含む)

寸法



通知

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関するご質問は、以下の Focusrite ヘルプセンターへアクセスしてください。 support.focusrite.com.

著作権および法定通知

Focusrite は Focusrite Group PLC の登録商標です。 Scarlett は Focusrite Group PLC の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2023 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。

クレジット

Focusrite は、本製品のために尽力してくれた以下の Scarlett 4th Gen チームメンバーに感謝いたします。

Aarron Beveridge、Adam Watson、Adrian Dyer、Adrien Fauconnet、Alex Middleton-Dalby、Alice Rizzo、Alistair Smith、Andy Normington、Andy Poole、Andy West、Arne Gödeke、Bailey Dayson、Bamber Haworth、Bash Ahmed、Ben Bates、Ben Cochrane、Ben Dandy、Benjamin Dunn、Bran Searle、Callum Denton、Carey Chen、Cerys Williams、Chris Graves、Dan Clarke、Dan Stephens、Dan Weston、Daniel Hughley、Daniel Johnson、Danny Nugent、Dave Curtis、David Marston、Derek Orr、Ed Fry、Ed Reason、Eddie Judd、Ellen Dawes、Emma Davies、Flavia Ferreira、Greg Westall、Greg Zielinski、Hannah Williams、Harry Morley、Ian Hadaway、Isaac Harding、Jack Cole、Jake Wignall、James Hallowell、James Otter、Jason Cheung、Jed Fulwell、Jerome Noel、Jesse Mancina、Joe Crook、Joe Deller、Josh Wilkinson、Joe Munday、Joe Noel、Jon Jannaway、Julia Laeger、Kai Van Dongen、Keith Burton、Kiara Holm、Kieran Rigby、Krischa Tobias、Lars Henning、Laurence Clarke、Loz Jackson、Luke Piotrak、Luke Mason、Marc Smith、Mark Greenwood、Martin Dewhirst、Martin Haynes、Mary Browning、Massimo Bottaro、Matt Morton、Matt Richardson、Max Bailey、Michalis Fragkiadakis、Mick Gilbert、Mike Richardson、Nicholas Howlett、Nick Lyon、Nick Thomson、Oliver Tapley、Olly Stephenson、Paul Chana、Paul Shufflebotham、Pete Carss、Pierre Ruiz、Richard Carvalho、Richard Walters、Robert Blaauboer、Robert Mitsakov、Ross Chisholm、Sam Lewis、Samuel Price、Sandor Zsuga、Sebastian Heinz、Simon Burges、Stefan Archer、Stefan Elmes、Steve Bush、Stratis Sofianos、Taavi Bonny、Taren Gopinathan、Tom Carter、Tom Haines、Tony Pow、Valeria Cirillo、Will Hault、Will Munn、Vidur Dahiya、Wade Dawson、Zih-Syuan Yang

著者はエド・フライ。